

たんぽぽ

2025年度 第

号

1

No.342



<https://sites.google.com/view/tanpopo-jsl-circle/>

2025年度 役員紹介

5月5日に当サークルの50周年記念大会がお陰様^{かげさま}で無事に終わりました。

半世紀^{はんせいき}続いたサークルを一世^{いちせいき}紀まで続けられように運営^{うんえい}をして行きたいと考えています。

今年度も会員の皆様のお力で1年間の活動を進めたいと思っていますので、

よろしくお願いいたします。

リーダー

1 大原 和男

サブリーダー

2 秋山 孝司

3 大原 真由美

4 坂本 七重

会 計

5 此村 貴美子

6 高橋 実加子

7 根岸 慶太郎

事務局

8 石原 昌治

9 大森 紀子

10 河内 健治

11 斎藤 真佐美

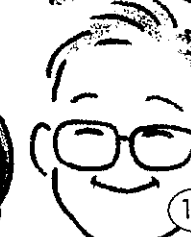
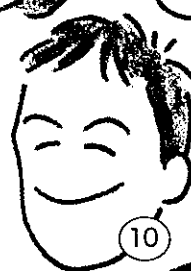
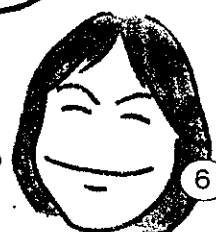
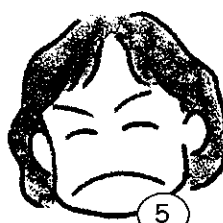
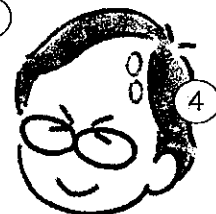
12 高野 和子

13 樋口 映子

14 村山 春佳

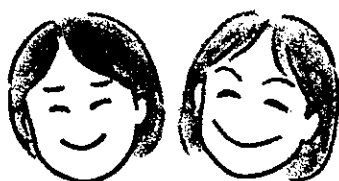
15 横田 静子

16 脇谷内 孝



監事 / 川口 泉

木村 美恵子



※顔はイメージです

学習・班活動

●学習 **基礎**：指文字や自己紹介など基礎的な手話を学びます。

(初心者のために**入門**も立ち上げます)

コミュニケーション：ろう者との手話会話ができるよう、
コミュニケーション方法を学習します。

情報保障：例会内の報告など手話通訳を経験、
サークル内の情報をより円滑に技術向上を目指します。

●班活動

国際手話班：今年2025年開催のデフリンピックに合わせて、国際手話を学んでいきます。

国語班：手話や日本語「語彙」について学びます。

カルチャー班：雑居祭りバザーなどで、手作り編み物や小物を販売できるよう、
モノづくりの趣味を広げていきます。

広報班：機関誌とホームページに加えて、
SNS媒体（YouTube）でもサークルの活動を幅広く紹介していきます。

新たに班を立ち上げることもできます。（相談会に申し出が必要）

委員会

※委員を募集しています。各担当委員にお問合せください。

たましろの郷世田谷委員会：ろう重複障害者施設の「たましろの郷」や「あゆむ会」の
支援活動を紹介していきます。

防災対策委員：聴覚障害者の防災に関する支援を行います。

参政権保障委員：選挙時に聴覚障害者の参政権に関する支援を行います。

都サ連：東京都手話サークル連絡協議会に加盟しており、
他のサークルと情報を共有していきます。

行事の実行委員

※実行委員を募集しています。各担当役員にお問合せください。

バスハイク：9月6日(土)～7日(日) 山梨県河口湖 1泊研修

雑居祭り：10月12日(日) 梅ヶ丘羽根木公園

烏山ユニバーサルデザインスタンプラリー：10月25日(土) 千歳烏山区民ホール

土の会クリスマス交流会：12月予定

『たましろ募金箱』後援会に寄付するためにサークルに常置しています。
今後も募金をお願いします。



たんぽぽ50周年記念大会

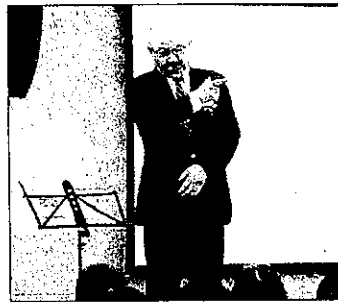
5月5日(月祝) 世田谷区民会館

手話サークルたんぽぽの創立50周年記念大会が行われました。



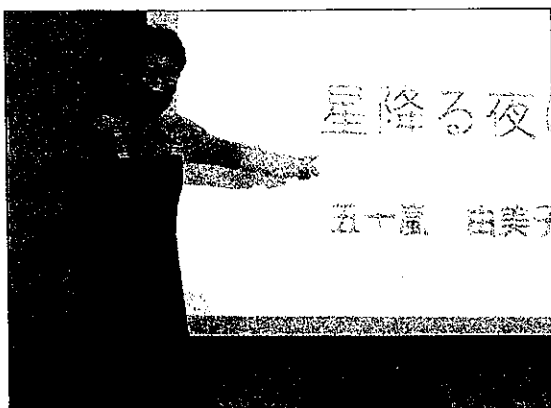
【式典】

記念大会実行委員長 高野和子の開会の挨拶から始まり、
来賓の世田谷区長 保坂展人様
土の会参加団体から
NPO法人世田谷区聴覚障害者協会会長代理 本多忠雅様
同じく名誉会長 倉方厚子様
手話サークル輪の会会長 久保典子様
世田谷区登録手話通訳者連絡会代表 高橋幸様
にご祝辞をいただきました。



【記念講演】

五十嵐 由美子様
テーマ「ろう者を取り巻く50年とこれから
—ろう俳優として生きて—」
TVドラマ『星降る夜に』の裏話を講演して
下さいました。



約120名の参列者の
記念撮影



【第2部パーティー】

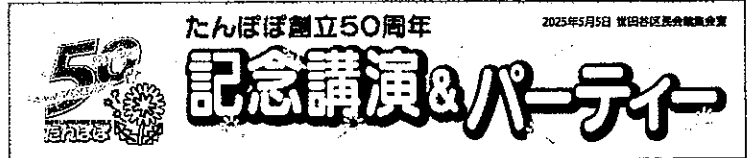
緒方道生様の乾杯の挨拶を皮切りに
パーティーが開催されました。

歴代のリーダーや、懐かしいメンバーと交えて歓談しました。

料理も美味しく豊富で大変好評でした。

料理担当の中山さんに感謝です。

スクリーンでは懐かしい写真を上映、当時の先輩方が
ステージで思い出を語って下さいました。



【福引き】

購入したチケット番号での福引をしました。

- 特等 商品券（一万円）
- 1等 商品券（八千円）
- 2等 商品券（五千円）
- 3等 サザエさんお菓子（三千円）
- 4等 サザエさんお菓子（二千円）

当選者の皆様、
おめでとう
ございます!!



【功労賞】サークルから、50年間支え続けて来られた齋藤さん、
20年間の根岸(優)さんに感謝状を贈呈しました。

<参加者から>

●おめでとうございます。

1995年から3年間たんぽぽに通いました。

たんぽぽの活動がきっかけで、手話と関わり、今に続く
生きがいを見つけました。

感謝しています。これからもたんぽぽの活動が永く続く
ことを祈念しております。<田島久美子様>

●多くの方々からご挨拶いただき、有難く思います。

世田谷区保坂区長にお越しいただき嬉しいですね。

講演会も良かったです。<緒方道生様>



記念品は特製のバンダナ
たんぽぽマグネット
デフリンピック公式パッチ
記念誌



<実行委員長から>

実行委員の皆様はじめ、個々の仕事を担われた会員皆様のおかげで
無事に大役を果たすことができました。

本当にありがとうございました。



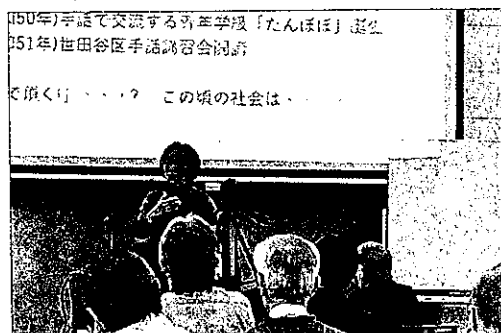
2025年度第1回講演会（4月22日しゃれなあと）

「たんぽぽ誕生の頃、そして今」

倉方 厚子 氏

NPO法人世田谷区聴覚障害者協会 名誉会長

倉方氏の講演を聞き、聞こえない障害が理解されにくいこととの闘争の歴史だと思いました。ある大学生から心ない言葉を投げかけられたり、小学生の息子さんが代わりに電話連絡してくれた時、涙を流しながら対応していたが、今も何を言われたのか話してもらえていないそうです。見えない障害への無理解への怒りがろう運動のエネルギーになったのだと感じました。



倉方氏が聴覚障害者に関わり目指した4つの柱です。

1. 聞こえない障害への理解
2. 手話の啓蒙と手話通訳者
3. 聴覚障害者の居住環境整備
4. 聴覚障害者の社会的地位向上(ろう教育)

今から42年前より世田谷区聴覚障害者協会の会長を32年間務められています。

この間、障害者グループホーム「さぎそうハウス」の設立や、災害時の聴覚障害者への支援活動を、区と協定を結ぶなどさまざまな功績を残されています。昨年度スタートした手話言語条例の礎を築かれたと思います。

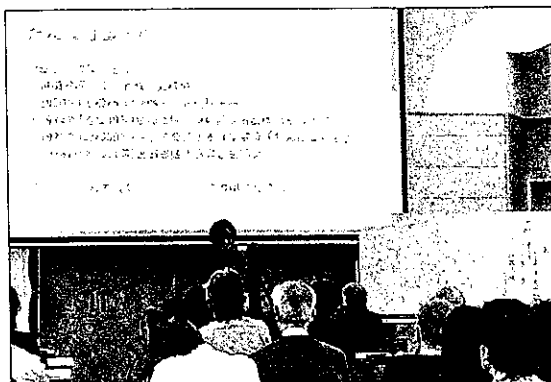
たんぽぽが発足10年に満たない頃から、倉方氏と共にろう運動に関わりお世話になっています。

世田谷区手話講習会では、長きにわたり講師を担当され、私も中級昼クラスで倉方講師にご指導いただきました。

時々お会いすると背筋が伸びる思いです。

これからもますますお元気でご指導をお願いします。

<石原昌治>



●各委員会の活動報告と予定 ※詳しくは各委員にお問合せください

たましろの郷世田谷委員会	5月 8日(木)委員会 6月 26日(木)委員会	6月7日(土)報告会とたましろフェスタ
防災委員会	活動無し	
参政権	5月22日(水)委員会 6月12日(木)委員会 6月26日(木)委員会	6月22日(日)都議会議員選挙
都サ連	4月20日(日)担当者会議	6月29日(日)総会
土の会本会議	5月29日(土)	

●行事实行委員の報告と予定 ※詳しくは各委員にお問合せください

雑居祭り	6月29日(土)実行委員会	10月12日(日)羽根木公園
土の会Xマス交流会		12月予定

●その他の報告

たんぼぼ50周年実行委員会	5月23日(金)反省会	
---------------	-------------	--

編集後記

たんぼぼ創立50周年を機に、この機関誌をB版からA版に大きくしました。

文字もちょっとですが大きくしています。

誌面に記事を多く載せられるよう、たんぼぼの活動をより知ってもらいたいと思いますので
今後よろしくお願いします。

'25. 4. 20

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.jp>tosaren_info@ybb.ne.jp

FAX : 03-3961-2445

**第 63 回地域担当者会議 &
第②回デフリンピック気運醸成会議 報告**

3 月 27 日(木)リフレッシュ氷川に於いて第 63 回聴覚障害者施策推進地域担当者会議&第 2 回デフリンピック地域気運醸成会議が行われました。参加者は 13 区 11 市より 47 名、各関係団体より 21 名でした。

- 1) 東京都が作成し配布している「おもてなし手話 book」を、追加で各区市ろう協に配布する準備を進めているとのことです。
- 2) 東京都の難聴児支援のための中核機能について、「東京都難聴児相談支援センター」の報告があり、相談件数は 83 件とのことでした。
- 3) 2025 年度東京都福祉予算について報告がありました。福祉関係全体では増額ですが、聴覚障害者関係だけ見ると微増とのことです。
「手話人口の裾野拡大支援事業」についても報告がありました。都と区市で 2 分の 1 ずつ負担する事業なので、地域で何をするか考え活用してほしいです。自分の地域の手話関係予算がいくらなのか調べてほしいです。
- 4) デフリンピック準備状況について報告がありました。ボランティア募集には 18,903 人の応募があり、その中から 3,500 人(500 人を追加)が当選しました。当選した皆様本当におめでとうございます。落選した皆様残念でしたが、めげずに観戦に行きましょう。開閉会式と競技の観戦は無料です。そしてデフリンピックの認知度も今年 39%まで上がっています。
- 5) デフリンピック全国キャラバンの説明がありました。「全国 50 ヶ所でのイベント開催」と「学校への出前授業」と「キャラバンカー 2 台で巡回」の 3 つの内容をキャラバンと呼んでいます。
「キャラバンカー 2 台」は、全国ろうあ者大会の岩手からスタートして、北回りと南回りの 2 ルートで開催地の東京を目指します。

6) 映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」の上映活動について説明がありました。デフリンピックの周知だけでなく、ろう問題の理解も広めるためにもこの映画の上映会を企画してください。(チケット代 1,200 円)

7) 目黒区が手話言語条例を可決し、23 区はすべての自治体で制定されました。市部では東大和市も 4 月 1 日制定されます。他の市でも制定に向けて取り組んでほしいです。

8) さらにお土産もありました。デフリンピックポスター 3 種(エンブレム[白地]、長濱ねる氏[ピンク地]、デファスリート[ピンク地])を 1,000 枚ずつ東京都からいただいたとのことで、各地域 1 種につき 2 枚ずつ計 6 枚まで持ち帰りました。

(報告 : 宮崎)

おかげさまで**『第 54 回耳の日記念文化祭』****無事終了しました！**

今回で 54 回目となる『耳の日記念文化祭』が 2025 年 2 月 22 日・23 日の 2 日間、港区にある東京都障害者福祉会館と男女平等参画センター(リーブラ)にて開催されました。

来場者は 22 日・23 日の 2 日間で 1802 名で前回より減ってしまいました。毎回見かける高齢のろう者が少なかった印象があります。ただ書籍の販売コーナーは盛況で『新しい手話 2025』は早々に売り切れていました。

耳の日のお手伝い(要員)は都サ連加盟サークルからは 21 日のパンフレット・記念誌の袋詰めと 22 日 23 日で延べ 124 人にのぼり他に大学生手話サークル・都サ連未加盟手話サークルからそれぞれ 9 名が参加しました。本当にありがとうございました。
要員といえば耳の日当日まで自分が何を担当するのかわからなかったり、事前にチラシや要員マニュアルを熟読してスケジュールや会場レイアウトを頭に入れてきても実際は違って来場者から怒られたりして要員はこりこりだと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、なんと今回は耳の日始めて以来初めて？要員説明会の時に要員名簿を配布することができました。それは要員名簿作成を都サ連が担当したからなのですが、都サ連といっても実際は

河野事務局長の尽力のたまものです。

事前に耳の日実行委員会であろう者の要員申し込みは各区市ろう協へ、聴者は都サ連へと決まっていたのですが周知されていないのか、ろう協から要員申し込みがあり全員ろう者だと思って名簿を作成したところ、要員説明会の時に「あの～私聴者なんですけど・・・」と言われ訂正もしました。スケジュールについてはそもそもチラシが間違っており、訂正の指示もありました。間違いが指摘されるたび東聴連のホームページは修正されるのですが、どこが間違っていてどう修正したのかがわからなかったので次回は正誤表を作る事をお願いしたいと思います。

会場が東京都障害者福祉会館とリーブラの2カ所に分かれていて、会場の移動に10分～15分くらいかかり、しかもわかりにくいことから案内・誘導の担当者が自発的に会場間の5カ所に分かれて道案内してくれました。スマホの地図アプリとにらめっこしても迷うのに、冷たい風の吹く中案内をしていただき本当に助かりました。また外がよほど寒かったのか耳の日の開催を2月の末ではなく3月の第2週にしてはどうかとの意見が出ました。

コロナ禍で中止になっていた模擬店も復活しつつあるようで22日23日と販売される食べ物は違っていました。模擬店があると会場が盛り上がりやす。私のお気に入り『玉こんにゃく』であまりのおいしさに2回もおかわりをしてしました。本当におすすめです。次回はもっともっと模擬店の数を増やし会場を盛り上げてほしいと思います。

都サ連に対してもたましろフェスタで好評だった『都サ連パン屋さん』復活の要望もあります。ひょっとすると来年の耳の日に出店しているかも・・・復活といえば本当にあと少しで復活するところだった『ナイトバー』も忘れてはいけません。入場するための整理券争奪戦のあの熱気が戻ってほしいと思います。

ほんの2ヶ月前に終わったばかりの耳の日ですが、今年はデフリンピック開催のため今まで以上に東聴連は忙しくなり耳の日どころではなくなってしまうのではと心配しています。なぜって通年行事の他にデフリンピック関連イベントを依頼されたり、デフリンピック開催期間はボランティアまでやるわけですから。とはいえデフリンピックが終わらないと落ち着かないのも事実です。

皆様 11 月以降なにが起こっても驚かない心の準備を今からお願いします。もちろん冗談ですが・・・

(報告：藤井)

耳の日大学生の感想

●日本大学文理学部手話サークル PEACE

・耳の日記念文化祭のボランティアは、普段手話を使ってコミュニケーションをとる機会が少ない私にとって、とても貴重な時間でした。また、ボランティアに参加したことで、手話でスムーズにコミュニケーションをとれるようになりたいと思うようになり、手話学習への意欲も高まりました。今回手話に沢山触れることができ、ボランティアに参加して良かったです。

●東洋大学手話サークルつみき

・耳の日記念文化祭では聴者、ろう者に関わらず、多くの方が手話を用いて会話を楽しむ姿が見受けられました。
・案内・誘導業務の際は簡単な手話に地図やジェスチャーを交えることで、手話勉強中の私でもろう者とコミュニケーションをとる事が出来ました。
・今回のボランティア活動を通して他大学の手話サークル部員と交流したり、普段のサークル活動では関わる機会のない小中学生やご年配の方とお話したりなど有意義な体験をすることが出来ました。

●帝京大学手話サークル BetterDays

・会場で誘導を担当させていただいたのですが、自分の手話を通じて会話ができたことがとても嬉しく、もっと手話を学びたいと思いました。
・ボランティアに参加してみて、普段生活しているだけでは耳やことばの不自由な方と関わる事が無いので実際に手話で道を聞かれたりお話をしたり、とても貴重な体験をさせていただきました。手話初心者の方にわかりやすくゆっくりとメッセージを伝えてくださったり手話で楽しそうにお話をしている姿を見ることができたりして、まるで声で話しているかのようにスムーズにやり取りをされていて驚きました。将来病院で働く時に手話で話す患者さんとお話ができるようになりたいと思いました。本を活用して学ぶだけではなくこういったボランティアに参加して手話を身近に感じることで自分自身を成長させていきたいと感じました。このような素敵な機会をありがとうございました。
・手話で会話することができて、嬉しかったです。サークルではあまり実践の機会が無かったので、良い経験になりました。また、使うことで新たに手話表現を覚えることもできました。

今後の予定 活動時間 19:00～21:00 ※予定は都合により変更になることがあります

●6月

3	火	例会: 全体会	20(金)相談会
10	火	例会: 学習	
17	火	例会: 班活動 しゃれなあど	
24	火	例会: 学習	

●7月

1	火	例会: 全体会	18(金)相談会
8	火	例会: 学習	
15	火	例会: 班活動 太子堂	
22	火	例会: 学習 太子堂	
29	火	例会: 講演会 しゃれなあど	

★たんぽぽホームページを新しく変えました

前のURLの場合、「ホームページ引越しのお知らせ」の1行をクリックしますと新しいURLが表記されます。

そのURLをさらにクリックしますと、新しいホームページに入ることができます。

手話サークル機関誌 たんぽぽ
発行日: 2025年6月3日(火)
発行: 手話サークルたんぽぽ
発行責任者: 大原 和男
たんぽぽホームページ

<https://sites.google.com/view/tanpopo-jsl-circle/>



講演会 問い合わせ先:

世田谷区教育委員会事務局 生涯学習課 Tel. 03-3429-4259 (Fax.03-3429-4267)

講演会以外の問い合わせは直接例会会場まで